

「5.15 平和行進に参加して」

平和行進の感想文を提出するようと言われて、何を書こうか頭を悩ませているときに亡くなった祖母のことが頭に浮かびました。

私の祖母は沖縄戦の体験者でした。

生前、幼い私に祖母が戦時中の話をしてくれたことがありました。

話の内容は覚えていませんが、祖母は話の所々で目を赤くさせ、涙を流していたことを鮮明に覚えています。

戦争で大切な家族も亡くしたと聞きました。悲しみに暮れることもできず、「死」の恐怖に怯えながら、毎日生き延びるために必死だったと思います。

本当に私たちの想像を絶するほどの体験だったと思います。

戦争が終わり、平和な世の中になってきつと祖母は自分の子供たちや、孫たちに絶対に戦争を経験して欲しくない。そして、戦争のない平和な世の中がずっと続いて欲しいと切に願っていたと思います。

最近のニュースや新聞を見ていると、近いうちに日本でも戦争が始まってしまうのではないかととても不安になります。

私たちの平和な暮らしや、大切な家族や友人を失わないためにも、二度と戦争を繰り返さないよう、みんなで団結し、断固として戦争を反対しましょう。

みんなが力を合わせれば私たちの声は必ず届き、現状を変えられると思います。

最後になりますが、今年も全国各地からたくさんの仲間が参加してくれたことに心から感謝申し上げます。

また、来年もみなさんの力を貸して下さい。3日間、本当にお疲れ様でした。

沖縄地方青年女性部
書記長 砂川 慶成